

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう  
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木孝幸  
幹事 須藤正樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

## 第1716回例会

令和4年6月23日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（今日の回顧、上手く出来ませんでしたが皆さんに伝わりましたでしょうか？会員の皆様、一年間ありがとうございます。）
- 須藤正樹幹事（今日は一年回顧でした。緊張しました。あと1週です。）
- 大住由香里会員（鈴木会長、須藤幹事、一年間回顧ありがとうございました。）
- 金田昇会員（先週末、日曜日にバイク愛好会の初ツーリング。楽しく参加できました。矢田部愛好会会長、設営ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（鈴木会長、須藤幹事さん、一年間御苦労様でした。ありがとうございます。横田支店長栄転おめでとうございます。新しい寺島支店長さんよろしく。西クラブを楽しみましょう。）
- 富永章会員（鈴木会長、須藤幹事、1年間ご苦労様でした。横田さん福島で頑張ってください。寺島支店長よろしくお願い致します。）

東邦銀行人事異動の為（6月30日）



横田俊郎会員



寺島由和会員

▶第1716回例会出席状況 (R4年6月23日)

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数                  | 51名   |
| Ⓑ 出席免除の適用正会員数                      | 14名   |
| Ⓓ 全正会員数                            | 65名   |
| Ⓒ ①の出席者数                           | 30名   |
| Ⓔ ①のメイクアップ者数                       | 0名    |
| Ⓔ ②の出席者数                           | 12名   |
| Ⓖ = ③ + ④ + ⑤<br>(メイクアップ補填後の出席会員数) | 42名   |
| Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)                    | 63    |
| Ⓖ = ⑥ / ⑦ × 100<br>(例会出席率)         | 66.6% |

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。本日も皆様お忙しい中、例会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。会長の時間も残すところあと2回ということで、今日は会長幹事の回顧が控えているということで、ちょっと手短にお話をしたいと思います。今回はじまりに四つのテストを例会で歌いました、私がよく判断基準で自問自答する4つのテストについてお話したいと思います。今回行う会長回顧、どういった方法で話そうとか、どうすれば皆さんにいろいろこの一年間を思い出していただけるかななんて、ここ数日間、仕事の合間で考えておりました。昨年の吉野直前会長は、この例会に来ている出席者全員一人一人について申し上げ本当にすごい会長回顧をやりまして、本当は私もそんな形式でやりたいなと思ったんですが、やると二番煎じになるのでちょっと格好悪いなあとということと、あとはすべて例会からこの一年間の事業、私が出たものもすべてパワーポイントで紹介しながら喋ろうかななんて思ったんですが、時間が全然短くて、それは現実的じゃないということもわかりました。私は結局いろいろ考えて悩んだんですけども、委員会単位でこの後話していきたくと思っています。そういったところでもいろいろ悩んだ時も、やっぱり4つのテストについても考えていました。先日まで仕事の話なんですけども、某町の小学校の児童館を作るんですけども、そちらの設計プロポーザルの作業を行いながらも本当に悩んでやっとまとめて、実は昨日プレゼンテーションを行ってきて、まだ結果が出ていないところなんですけども、そんな時もやっぱり悩んだ時には4つのテストを考えていました。今年の例会の開催についても、コロナ禍に翻弄されながらも結局公式の休みは一度しか休むことはなくて例会を実施してきたわけなんですけども、開催に至るまでのその心の葛藤が沢山ありました。いろんな先輩に相談しても、なかなかやっぱり先輩方の判断基準もまちまちで、最終的に私の判断で例会を実施するかやめるかというのも決定していったわけでございます。こういった本当に仕事からロータリーまですべて、生活に至るすべて、いろんな判断をする時は私は全部4つのテストを悩んだ時は自問自答しております。真実かどうか。みんなに公平か。好意と友情を深めるか。みんなのためになるかどうか。今回の会長回顧も、例会の開催も、そして先程言いました仕事も、4つのテストは万能であります。これって本当

に考えると癖になる項目でありまして、皆さんも是非基本中の基本ですけども、やってみていただきたいと思います。簡単ですけども、今回の会長の時間は4つのテストの話で終わらせていただきたいと思います。今日はよろしくお願いたします。

### ■幹事報告

須藤正樹幹事

- 2021-22年度 ガバナー 志賀利彦：ウクライナへの支援活動について
- ガバナーエレクト 佐藤正道、次期地区公共イメージ・IT委員会委員長 町田章、次期地区公共イメージ委員会委員長 渡邊まりこ：クラブHP・SNS等アカウントの報告について（依頼）
- 第72回“社会を明るくする運動”白河市実施委員会委員長 白河市長 鈴木和夫：第72回“社会を明るくする運動”白河市実行委員会内閣総理大臣メッセージ伝達式の開催について（依頼）
- 白河ユネスコ協会会長 小野利彦：「平和の鐘を鳴らそう！」運動への参加について（依頼）
- ガバナーエレクト 佐藤正道、米山記念奨学会委員長 武島昭良、米山記念奨学学友会会長 チンタカマール：2022年学年度米山記念奨学生による体験発表会のご案内
- ガバナーエレクト 佐藤正道、次期地区研修リーダー 石黒秀司、次期地区ロータリー財団委員長 田久昌二郎：2022-23年度国際ロータリー第2530地区ロータリー財団「クラブ活性化ワークショップ」開催について
- ガバナーエレクト 事務局 佐藤直子：前期地区委員会総会懇親会出席者についてのお願

### ■委員会報告

#### ○鶴丸彰紀会員



少しのお時間いただきます。わたくしの会社のほうで協賛活動しております、子供に向けての活動ということで、昨年もご紹介させていただきましたが、こちらのチラシを皆様の引き出しの中に入れていただきました。「子供の夢活」という活動です。先日、こちらのほうでもお話をさせていただきましたが、岡野誠、岡野塾という所が中心になってやらせていただいています。この内容のメインという私が考えるところは、福島県の子供、白河の子供が安心して将来福島県で勤められる状況を作りたいとは思っています。もうこの活動も2年目になりまして、各中学校、小学校の子供たちと話す機会が本当にこの2年間増えました。

子供たちが将来の夢として思っていること。ユーチューバーとかそういった有名な東芝、松下という話以外で、将来君たちはどこに勤めたいかという話をすると、地元で勤めたいという子供が非常に多かったです、私が思っているより。将来は地元で勤めたいんだ、だけど地元でどんな会社がどんなことをやってるのかを子供たちが触れる機会が全くない。自分の親の商売とか親戚の商売くらいしか知りません。通学の途中の会社の名前、看板で知ってるけど何やってるかわかりません。果たして我々大人というのが、子供たちに向かってこんなことをやってるんだよ。会社の紹介だけじゃなくて、地元の楽しさというのを知らせることができてるのかどうか。先程言ったように、子供たちは東京に憧れてるとか、ユーチューバーに憧れてるとか、それだけじゃありません。それはただ単に目に付くからそういう商売したいなと思ってるだけで、本心としては地元で働きたいんだという子供が凄く多い。ということで、今回昨年に引き続き倉の「倉美館」という大ホールを借りきってやらせていただきますが、昨年までは参加費必要だったんですが、今年は参加費完全無料で集めます。こちらのほうで、子供たちに仕事に対する夢というのを大人が与えられればと感じて、私はこの動きを協賛させていただいております。このロータリーという中でも、子供に対する夢を与える活動というのが皆さんの心に響いていただければ嬉しいと思いますので、このチラシを置かせていただきました。もし、詳しい話必要でしたら鶴丸あてに声かけていただければと思います。是非、ご一読ください。お時間いただきますありがとうございます。



■本日のプログラム  
一年回顧 会長、幹事  
○鈴木孝幸会長



それでは、会長の回顧をしたいと思っております。今年度一年間、「新たな奉仕に踏み出そう ロータリーの次の百年のために」をクラブ目標と定め活動をしてまいりました。昨年は、日本にロータリークラブができてちょうど100年。今年は101年目のまさに新たな世紀に踏み出した大切な節目の年でありました。私

たちはその新たな100年にうまく踏み出すことができたでしょうか。ここにこの一年を一緒に歩いていただいたメンバーの皆様へ感謝しながら、一年を振り返ってみたいと思います。まず、会場監督をしていただきましたSAAの皆さん。山口委員長をはじめとした、佐藤、安部、佐川、車田、緑川の副委員長の皆様、大変ありがとうございました。毎週、気の抜けない大変な委員会ですが、忙しい中、皆さん交代で本当によくやってくれたと思っております。昼の例会では、実は名札をSAAが並べるんですけども、いつも吉田さんが影のSAAとなって頑張ってくれていました。吉田さんにも感謝を申し上げたいと思います。続きまして、**ビジョン推進研修委員会**、宮本委員長、佐藤委員、前原委員、渡部則也委員の4名で構成された一年間頑張っていたいただきました。7月18日に研修セミナーの出席は、8月5日の担当例会、宮本委員長が中心となって頑張っていたいただきました。大変ありがとうございました。また、私も出席した規定審議委員会の資料もお渡しして引き継ぎもしていただきました。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。**プログラム委員会**、中目委員長、吉田副委員長、上杉委員、前原委員の4人の委員会です。今年もコロナ禍に翻弄されまして、9月のホームミーティングの開催の変更で、佐川庄司さんの卓話となったり、佐藤清作先生に卓話をお願いしたり、終盤にも私のわがままで急遽ホームミーティングを開催すると決めたので、他にもいろいろ調整を沢山お願いしまして、一年間大変ご迷惑をおかけしたと思っております。その都度、ぐずぐずも言わずうまく調整してくれた中目委員長をはじめ、委員の皆様にご感謝を申し上げます。**出席委員会**、山田委員長、瀬谷副委員長、鶴丸委員、石部委員、鈴木信教委員の5名ですね。今年は初めての100%ズーム例会を開催する際にズームの準備ができていないメンバーの把握や、その方々の出席していただけるように、割り付けをしていただいたり、ズームでの出席者も数を数えていただいたり、何かと手間のかかった委員会だったと思っておりますけども、一年間しっかり対応していただきまして、大変ありがとうございました。続きまして**親睦委員会**、鶴丸委員長、藤田副委員長、運天委員、瀬谷委員、井上委員、吉成委員、増子委員、永山委員、水上委員、石川委員、白岩委員、沼田委員。新人も入りまして、12名の委員会であります。7月の納涼例会から始まりまして、来週まだまだ仕事は残っています。会長幹事慰労会、しかも今年IMがありましたから、今年は本当に出番が多かったと思っております。本当に大変な委員会だったと思っております。馬力のある鶴丸委員長と、アイデアの藤田副委員長、そして百戦錬磨の運天委員がけん引役となって、メ



入れの情報がちょっとうまく伝わっておりませんで、藤田龍文会員が奨学生の世話人を受けますよと言っていてくれてたんですけども、受け入れが結局できませんでした。それは本当に残念に思います。米山の寄付は、池田委員長と金田ガバナー補佐と、あとわたくしで目標額を達成させていただきました。池田委員長をはじめとした委員の皆様、大変お世話になりました。**スマイルボックス委員会**、大住委員長、根本副委員長、藤田委員、石部委員ですね。スマイルボックス委員会も、毎週報告がある本当に大変な委員会であります。大住委員長をはじめとした委員の皆様、交代交代でやっていただきまして大変ありがとうございました。今年目標額は、133万円に設定しているんですけども、先日の委員会回顧で大住委員長のほうから127万になっていることを聞きまして、もうすぐ達成できるなと嬉しく思っています。コロナ禍の中、スマイルしにくい100パーセントズーム例会も4回あったということで、この金額を集められたということは本当にすごいことかなと思っています。大住委員長をはじめとしたスマイルボックス委員会の皆さん、どうも本当にありがとうございました。**社会奉仕委員会**、村上委員長、遠藤副委員長、小林委員、佐川委員ですね。社会奉仕委員会の今年度の活躍は、なんとといっても村上委員長の鳴り物入りで実施した事業でありますロータリー奉仕デーの「誇れる町プロジェクト」であります。金田ガバナー補佐のもと、県南分区8クラブが全て参加して行われる事業は、県南分区初めてのことでありまして歴史的な事業となりました。そんな事業を我々西クラブが主管して行いましたのは、本当に良かったことと思っています。村上委員長をはじめとした委員の皆様、どうもありがとうございました。**職業奉仕委員会**、齋藤委員長、上杉副委員長、桜岡委員、湊委員ということで、齋藤委員長からは年度初めには、東京証券取引所に行きたいとか、最先端のスマート農場を見学に行きたいとか、あとは国会にも上杉謙太郎議員のついでで国会を見に行きたいというような、結構面白そうな企画を目白押しでいたんですけれども、実際コロナ禍の中、なかなか東京に行くタイミングがつかめないのでありました。結局、行けずじまいでありました。ですが、1月に「株式会社フジ機工」の近藤専務さん。石川会員と同じJCメンバーのお友達ですね。今、頑張っている若手女性企業人の方にお話をいただけたのは非常に良かったかと思っています。齋藤委員長をはじめとした委員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。**国際奉仕委員会**、青木委員長、十文字副委員長、成井委員という形ですね。本当はここで音楽が流れれば、「栄光の架け橋」を流したかったんですけど、皆さん心の中で演奏しながら

聞いてください。35周年のミャンマーランドセル事業の居残りというか、青木国際奉仕委員長は今年度再登板でしたが、実はそればかりじゃなくて、実は私もコロナ禍や内戦が収まっていれば、海外交流事業や実際にミャンマーにランドセルを届けて行ってみたいと思っていましたので、そういった場合、やっぱり青木委員長は行動力があるので頼りになるなという形で今年度委員長になってもらった次第であります。最終的に、上杉謙太郎会員の紹介で「ジョイセフ」様にランドセルを託すことができたので、肩の荷が下りたという感じであります。ランドセルを横浜まで運んだ吉野直前会長、居川直前35周年実行副委員長、成井パスト会長。あと、青木委員長、大変お世話になりました。来年、アフガニスタンの子供たちから嬉しい連絡が入る予定であります。楽しみにしたいと思っています。ありがとうございました。**青少年奉仕委員会**、藤田委員長、島田副委員長、松永委員、緑川委員ですね。青少年奉仕委員会の一番の思い出は、やはり財団の補助金を活用させていただいた白河第二小学校の楽器寄贈事業でありました。寄贈当日は、藤田龍文委員長と諸橋直前財団委員長、須藤幹事と私の4人で学校に行っていました。諸橋さんが自身が修復したホルン3台と新たに購入したホルン1台寄贈してまいりましたが、器楽部の子供たち50人くらいがその寄贈で我々を出迎えていただきまして、我々も心温まる本当に記憶に残る寄贈式となりました。藤田委員長をはじめとした委員会の皆様、諸橋直前財団委員長、大変お世話になりました。**ゴルフ愛好会**の皆様には、ゴルフの下手な私を一年間会長会長と盛り上げていただき感謝しております。何度か私もポケットマネーで商品も提供させていただきましたけども、新年度の取り切り戦でも景品を出せと、成井会長のほうから命令でございまして、カットアゲだと思って最後までご協力させていただきたいと思っております。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、**歴史文化研究愛好会**、関谷会長には、今年度二度も例会に貢献していただきました。一度目は、藤田龍文君の藤田記念博物館の佐川学芸員に谷文晁の話をしていただき、二度目は渋谷栄一と松平定信について中目さんの話を聞きたいということで、中目さんに卓話をいただきました。二度の例会とも、非常に興味深くてなかなか聞けない話でありました。関谷会長をはじめ、歴史文化研究愛好会の皆様、ありがとうございました。あとは**野球愛好会**ですね。野球愛好会の活動は、今年度コロナ禍で数度の練習しか活動ができなかったとの回顧を聞いております。今年度はひょっとして、年度初めは甲子園に行くのかななんて私も期待しておったところですけども、吉田監督またの機会でもよろしくお願ひしたいと思

います。スキー愛好会です。恒例の蔵王交流会は、残念ながら我がクラブの有志だけでの実施でありましたが、1日目蔵王、2日目天元台に移動するという、私は初天元台ですごい超深い雪面を滑るという経験をさせていただきました。非常に思い出深い楽しいスキーとなりました。鶴丸会員が一時参加したいとの話があったんですけども、申し訳ないんですけども我々にはついていけないと思うから、今回は我慢してねと申しあげました。まさに、鶴丸会員と一緒に天元台に、あのすごいもう1メートル50以上の深い雪面に行ったら、多分天元台の雪の中に置き去りにするところだったと、当時は振り返ってホッとしていたものでありました。鶴丸会員は来年はちょっと修行していただいて、是非一緒に蔵王に行きたいと思えます。よろしく願います。佐藤幸彦会長、愛好会の皆様、大変お世話になりました。バイク愛好会は、今年度発足しました。先日、矢田部会長の段取りで無事に初ツーリングに行っていました。矢田部会長、金田副会長、そして佐藤会員、私の4名のロータリーメンバー。それと、3名のゲストで、南会津の桜枝岐までちょっと距離は近いんですけども、初めてということで250ccの佐藤幸彦さんもいたので、ちょっとそんな感じで近場ということで行ってきました。ところが、佐藤会員250ccのバイクで行ったんですけども、大型バイクと走っても遜色ない走り、正直びっくりしました。さすが、内緒だったんですけども新車のGTRをサーキットに持ち込んで壊すだけの人だなと、本当に実感した次第であります。矢田部会長、今度は幸彦さんが走れることがわかったので、是非遠慮なく距離を伸ばしてロングツーリングを企画して下さいますよう、よろしく願います。委員会単位で回顧をさせていただきましたが、最後にIMですね。会場は「グランドエキシブ那須白河」本当にフルスペックでの開催でありました。言うまでもない素晴らしい吉田実行委員長を中心とした実行委員会のまとまりと、西クラブメンバーの底力を垣間見た感じでありました。ガバナー補佐のリーダーシップのもとに、コロナ禍の落ち着いた本当に狭間で、最高のIMを開催できたというのは大変ではありましたが、本当に嬉しいことでありました。金田ガバナー補佐、吉田実行委員長はじめ、メンバーの皆様、大変ありがとうございました。このように、いろいろ振り返りますとコロナ禍という未曾有の環境の中で、一年間よく本当にこういったこういうふう力強くロータリー活動を続けられて来たのかなと思えました。ひとえに、会員の皆様方のおかげでございます。まさに、新たな奉仕に踏み出すことができた一年と、手前みそではありますが実感しております。最後

になりますが、一年間この未熟者の会長を支えてくれた会員の皆さん、そして事務局の吉田さん、ここにはいせんが私の家内と会社の職員たちに感謝いたします。そして最後に忘れちゃいけない、日々仕事で忙しい中、一年間ロータリーを最優先で私を支えてくれた相棒の須藤幹事に、心から、心から、もう一回言います。心から感謝いたしまして、会長の一年回顧といたします。皆様のご清聴、ありがとうございました。

#### ○須藤正樹幹事



本年度は白河西ロータリークラブ鈴木孝幸会長の下幹事を任されました。話を受けたときは軽い気持ちで断る理由も見つからずいつものはい喜んで受けました。まずは親睦活動委員会から始まり、副幹事その時にSAAの委員も受けました、運天SSAのもと幹事には必要なことを教わりました、幹事の前にSAA委員やってよかったと思います。前幹事は、兼子幹事、続いて堀田幹事と素晴らしい幹事の後なのでプレッシャーがとてつものなほどでしたが、同じ事は出来ない、決めて幹事の職に就きました。最低限休まず出席しようと思えました。が2回ほど車田副幹事に変わりを願いました。

3年目のコロナ過ではありますが蔓延の状況次第でしたが例会では初めての100%ZOOM例会を開催いたしました。IT委員長が前年度から継続してきたおかげで休むことなく例会が開催されました。地区研修協議会はWEB会議、地区大会は多くの参加を望みましたが3名が出席出来た大会でした。なお深谷ノースロータリークラブ様との交流も出来ましたし、コザローラリークラブ様とも交流も出来ました、県南分区インターシティミーティングではホストとなり100人越えの開催も出来ました。久しぶりの大きな大会、懇親会が出来参加した皆様も喜んでいました。人前で話すことが得意ではない自分でしたがどうにかやれたかな？と思えます。鈴木孝幸会長の下幹事をやれて良かったです。頼ってばかりで迷惑おかけしました。有り難うございました。30日に会長幹事慰労会、そして決算が残っていますが、皆様のご協力のお陰で無事終了することが出来ると思えます。本当に1年間有り難うございました。